

農業経営改善関係資金(前向き制度資金)借入申込希望書  
(長期資金)

平成 年 月 日

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 支店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 支店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

提出先の窓口機関にチェックを入れて下さい。

郵便番号 □□□-□□□□

住所

電話番号 ( )

フリガナ

氏名

印

生年月日 [ 年 月 日生( 歳)]

[法人等の場合は、名称及び代表者名]

農業経営改善関係資金借入希望額等

申請者	①認定農業者 <input type="checkbox"/> ②認定農業者以外 <input type="checkbox"/>
資金使途	①農地等の取得を含む <input type="checkbox"/> ①新しい作物分野・流通・加工分野へのチャレンジ 又は新技術へのチャレンジ <input type="checkbox"/> ②農地等の取得を含まない <input type="checkbox"/> ②それ以外 <input type="checkbox"/>
希望する返済期間	①15年超 <input type="checkbox"/> ②15年以下 <input type="checkbox"/>
希望借入額	[ ]円
借りようとする資金	①どの資金でもよい <input type="checkbox"/> ②特定の資金を借りたい ア 公庫資金 <input type="checkbox"/> (うち、改良資金 <input type="checkbox"/> ) イ 近代化資金 <input type="checkbox"/> (ア-1-1 信農連等直貸 <input type="checkbox"/> ア-1-2 農協等転貸 <input type="checkbox"/> ア-2 公庫支店直貸 <input type="checkbox"/> )
今後5年間における本 要綱対象資金の借入予 定の有無(今回分は除外)	①有 <input type="checkbox"/> ②無 <input type="checkbox"/> ※1
今回借り受けようとする 時期	平成 年 月 日 (事業の着工予定日( 月 日)、竣工予定日( 月 日))
これまで取引のある民 間金融機関又は今後取 引を希望する金融機関	[ ] 農協・銀行・信金・信組 [ ] 本・支店
担保提供の可能性	①借入額からみて十分な物的担保の提供が可能 <input type="checkbox"/> (ここにチェックした場合は提供可能担保欄に記入のこと) ②それ以外 ア 機関保証を利用したい <input type="checkbox"/> イ 機関保証を利用したくない <input type="checkbox"/>

提供可能担保	所在地	地目 種類	筆数・登記面積 規模(実面積)㎡	担保種 類・順位	所有者名

※1 無の場合で、1回の借入希望額が700万円以下である等の一定の要件を満たせば別紙2の(3)(個人用)又は(4)(法人用)を使用することができる。

## 個人情報 の 取 扱 い に 関 す る 同 意 書

関係機関への関係書類の提供について、次の範囲内で同意します。

- ① 頂いた情報は、法令に定める場合を除き、次により同意頂いた機関以外に提供されることはありません。
- ② 関係機関に提供する情報の内容は、借入申込希望書、経営改善資金計画書、経営状況報告書、借入申込書、保証委託申込書及びこれらの添付書類のうち、次により同意頂いたもののみとします。
- ③ 頂いた情報の管理にあたっては、個人情報の保護に関する法律その他の法令の個人情報の保護に関する規定を遵守します。
- ④ 利用目的は、本申込希望書に係る関係機関による審査、貸付手続、事後管理及び経営能力向上のための指導です。(農林水産省経営局から農業者向け制度資金運営に関する調査のための情報提供の要請があった場合には、氏名・法人名、既往借入金金融機関名、取引先名等の個人が特定される事項及びそのおそれのある事項を除き要請に応じることがあります。)

次のいずれかの□に✓を入れて下さい。

### 1. 提供先として同意する関係機関

全ての関係機関に提供することに同意します。

下記の関係機関に提供することに同意します。(同意する機関の□に✓を入れて下さい。)

(行政機関等)

※都道府県

※市町村

※普及指導センター

農業委員会

(※融資機関・保証機関)

農業協同組合

信用農業協同組合連合会

農林中央金庫

\_\_\_\_\_銀行

\_\_\_\_\_信用金庫

\_\_\_\_\_信用協同組合

株式会社日本政策金融公庫

農業信用基金協会

(利子助成機関)

※(\_\_\_\_\_)

(その他)

(\_\_\_\_\_)

※ 借入れしようとする融資機関、利子助成又は貸付資格の認定(農業改良資金)を行っている都道府県、市町村及び利子助成機関(保証を希望する場合には保証機関)への情報の提供に同意頂けませんと融資、利子助成等に必要書類が揃わないことになります。

また、融資後の指導を希望する場合には、普及指導センターへの経営状況報告書の提供に同意して頂く必要があります。

### 2. 提供に同意する情報の種類

関係書類の情報の全てについて、1の※印の関係機関(融資機関にあつては借入れしようとする機関に限る。)に提供することに同意します。

下記の情報について、その他の関係機関に提供することに同意します。(同意する書類の□に✓を入れて下さい。)

借入申込希望書(□添付書類)

経営改善資金計画書(□添付書類)

経営状況報告書(□添付書類)

借入申込書(□添付書類)

債務保証委託申込書(□添付書類)

上記のとおり、確認しました。

年 月 日

住所・所在地

署名又は記名・押印



#### 4 経営改善の視点

##### (1) 直近の経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円、その他単位は適宜)

##### ① 経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

農業粗収入			直近年( 年)
(記入例) 水 稻	共済加入の有無 有・無	経営規模 生産量 売上高	
(記入例) だいこん	共済加入の有無 有・無	経営規模 生産量 売上高	
(記入例) りんご	共済加入の有無 有・無	経営規模 生産量 売上高	
	共済加入の有無 有・無	経営規模 生産量 売上高	
作業受託収入			
その他( )			
農業経営費			0
原材料費			
施設・機械費			
うち減価償却費			
出荷販売経費			
雇用労賃			
支払利息			
支払地代			
その他			
農業所得			
農外所得			
年金被贈等			
農家総所得			
家計費			
租税公課			
償還財源			
償還金(元本)			
差引余剰			
施設・機械等の設備投資			

直近年( 年)	
単収	
単価	
変動理由	
単収	
単価	
変動理由	
単収	
単価	
変動理由	
単収	
単価	
変動理由	

(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。

直近年の農家総所得A	千円
直近年の農業所得B	千円
B / A	%

例:農業用生産手段の一時的賃借料など

→ 種苗、肥料、農薬、光熱動力その他の諸材料費等

→ 出荷手数料、販売促進費等

→ 常雇、臨時雇用人などの労賃

→ 農業経営上の費用で、他の経費に当てはまらないもの(例:農業共済掛金)

→ 農業粗収入-農業経営費

→ (事業収入、給与、受取小作料、受取利息等)-農外支出  
年金、祝金等

→ 農家世帯員が生活を維持するために要した費用

→ 国税等の税金のほか、社会保険負担、農協・農業共済組合負担、その他賦課額

→ 農家総所得+減価償却費-家計費-租税公課

→ 1個または1組の取得価格が10万円以上のものであり、その使用可能年数が1年以上のもの(※平成元年4月~平成10年12月31日までは20万円以上)

例:①畜舎、温室などの建築物、②果樹棚、サイロや用水路等の土地改良設備一切の構築物、③農機具・自動車、④養鶏ケージ、育苗箱等、⑤コンピュータ、FAX等

##### ② 経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	算出基礎
資産計	0	
預金(共済等の積立金を含む)		
農協等に対する出資金		
土地		
建物		
家畜		
農機・その他		
負債計	0	
農業負債(短期)		
農業負債(長期)		
農外負債		
その他		
正味資産		
保証債務		

③ 経営上の課題はないか

(営農類型: \_\_\_\_\_ )

項目	状況	問題・課題点(その改善策)	※問題ありの場合に記載
技術レベル	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
単収	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
品質・単価	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
経営規模	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
コスト	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
販売方法	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
家計費	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
その他	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		

(2) 経営の改善を図るための事業内容

① 経営改善を図るための方策(4の(1)の③の経営上の課題を踏まえ、その改善方を具体的に記載)

※新作物・流通加工・新技術のチャレンジの場合は、その旨を具体的に記入してください


② 設備資金の使いみちと資金調達

実施年度	投資内容	規模・能力	数量	主食用米の生産に供する農地、施設、機械に該当する場合は○(※)	事業費 【単位:千円】	新設・更新	資金調達計画	
							(自己資金、補助金、借入金等)	(借入金の場合、償還期間)
1						新設・更新		年
2						新設・更新		年
3						新設・更新		年
4						新設・更新		年
5						新設・更新		年
合計								

※目標年度までのすべての設備投資をご記入ください。(自己資金のみによる設備投資を含めてご記入ください。)  
 投資内容の欄について、農地等を取得する場合は、田、畑などの用途と、自作地・小作地の別をご記入ください。  
 ※農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合は、記載すること。

③ 運転資金などの主な使いみちと資金調達(研修、調査、研究開発費として必要な資金も本欄にご記入ください。)

長期運転資金の使いみちと算出基礎	必要時期	必要額	償還期間	備考
	月 日	千円	年	
	月 日	千円	年	
	月 日	千円	年	

④ (スーパーL資金について)経営安定のための資金の使いみちと資金調達

資金の使いみちと必要額の算出根拠	必要時期	必要額	償還期間	備考
○負債の整理(※1)	年 月	千円	年	
○資本構成の是正(※2)	年 月	千円	年	
○その他	年 月	千円	年	

※1金利が高いとか、償還期間が短いといった理由により、現に経営の安定に支障をきたしている既往負債がある場合に、その負債を整理の対象にするものです。

2 本来は長期資金で対応すべきものを短期資金で対応したために悪化した流動比率を、長期資金への借換えによって是正するものです。

(参考) 既往借入金の状況(農業経営以外の借入金も記載してください。)

( 年 月 日現在)

借入先または資金名	主な資金の使いみち	借入年月	現在残高 【単位:千円】	利率	償還期限	据置期限	償還方法 (いずれかを○で囲んでください)
1		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
2		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
3		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
合計							

⑤ 経営改善のための計画の算出基礎(該当する営農類型について記入してください。)

(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

## (酪農)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
経産牛1頭あたり乳量	kg / 頭			濃厚飼料総給与量	t / 年		
乳価	円 / kg			濃厚飼料平均価格	円 / kg		
乳飼費	%			粗飼料総給与量	t / 年		

## (肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1	
区分	単位	実績	目標	実績	目標
素牛	導入頭数	頭 / 年			
	導入月齢	か月			
	導入価格	千円 / 頭			
販売牛	販売月齢	か月			
	販売体重	kg / 頭			
	販売価格	千円 / 頭			
枝肉ランク	%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上
濃厚飼料総給与量	t / 年				
濃厚飼料平均価格	円 / kg				
粗飼料総給与量	t / 年				

## (養豚)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
種豚の品種	♂			肥育豚	出荷日令	日	
	♀				出荷体重	kg	
母豚1頭当り年間産子数	頭 / 年			上物率	%		
母豚平均分娩回数	回 / 年			肥育豚販売手数料	円 / 頭		
販売子豚	出荷日令	日		飼料総給与量	t		
	出荷体重	kg		飼料要求率			

## (採卵鶏)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種	♂			淘汰方法			
	♀			産卵期間	か月		
導入ヒナ	日令	日		飼料総給与量	t		
	価格	円 / 羽		飼料要求率			
年間導入羽数	千羽			G. P. 経費	円 / kg		
育成率	%						

## (ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種				育成率	%		
ヒナ購入価格	円 / 羽			出荷日令	日		
鶏舎延坪数	坪			出荷体重	kg / 羽		
坪当たり常時飼養羽数	羽 / 坪			飼料総給与量	t		
餌付回数	回 / 年			飼料要求率			
餌付羽数	千羽 / 年						

(3) 計画が実行された場合に収益はどうなるか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	目標(5年目)
農業粗収入						
記入例 水 稲	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
作業受託収入						
その他( )						
農業経営費						
原材料費						
施設・機械費	うち減価償却費					
出荷販売経費						
雇用労賃						
支払利息						
支払地代						
その他						
農業所得						
農外所得						
年金被贈等						
農家総所得						
家計費						
租税公課						
償還財源						
償還金(元本)						
差引余剰						
施設・機械等の設備投資						
農業負債(短期)						
農業負債(長期)						
農外負債						
計						

# 経営改善資金計画書(法人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	}	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会		
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店		
<input type="checkbox"/>	銀行 店		
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店		
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店		
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店		

提出先の窓口機関にチェックを入れてください。

年 月 日

住所

法人名

代表者

印

1 計画期間 年度～ 年度

## 2 法人の概要

設立年月	年 月	資本金	千円
------	-----	-----	----

構成員氏名	年齢	役職担当	法人従事 日数	出資口数	目標年の状況

注 連帯債務者は、氏名に○印を記入

構成戸数	戸	常時雇用	人	臨時雇用	人
------	---	------	---	------	---

## 3 経営規模

田 (うち借地)	a	( a)
畑 (うち借地)	a	( a)
樹園地 (うち借地)	a	( a)
採草放牧地(うち借地)	a	( a)
施設面積	棟	m <sup>2</sup>
常時飼養家畜	種類	頭、羽

(添付書類)最近3か年の決算書(付属明細書を含む)

※法人格を有しない団体も本計画書に準ずる。

4 経営改善の視点

(1) 直近の経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円、その他単位は適宜)

① 経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

			直近年( 年)									
売上	(記入例) 水 稻	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収							
			生産量		単価							
			売上高		変動理由							
	(記入例) だいこん	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収							
			生産量		単価							
			売上高		変動理由							
	(記入例) りんご	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収							
			生産量		単価							
			売上高		変動理由							
		共済加入の有無 有・無	経営規模		単収							
生産量			単価									
売上高			変動理由									
	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収								
		生産量		単価								
		売上高		変動理由								
その他( )			0	(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。								
売上原価			0									
期首商製品棚卸高			0									
当期商品仕入高			0									
当期製品製造原価												
材料費				<table border="1"> <tr> <td>法人の直近年売上高 A</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>農業に係る直近年の売上高 B</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>B / A</td> <td>%</td> </tr> </table>			法人の直近年売上高 A	千円	農業に係る直近年の売上高 B	千円	B / A	%
法人の直近年売上高 A	千円											
農業に係る直近年の売上高 B	千円											
B / A	%											
労務費												
賃借料												
その他経費												
(減価償却)												
期末商製品棚卸高			0									
売上総利益												
販売費・一般管理費												
役員報酬												
その他人件費												
出荷販売経費			0	→ 出荷手数料、販売促進費等								
減価償却費												
営業利益			0									
営業外利益			0									
営業外費用			0									
支払利息												
経常利益			0									
税引前当期利益												
法人税等充当額												
税引後当期利益			0									
償還財源												
償還金(元本)												
差引余剰			0	→ 税引後当期利益+減価償却費-償還金								
施設・機械等の設備投資												

② 経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	主な勘定内訳
流動資産		預貯金( )、売掛金( )、受取手形( )、棚卸( )
固定資産		土地( )、建物( )
繰延資産		
資産合計	0	
流動負債		短期借入金( )、買掛金( )、支払手形( )
固定負債		長期借入金( )
資本		資本金( )、法定準備金( )、剰余金( )
保証債務		

参考: 法人の構成員が当該法人に貸与している土地の価格の合計額 \_\_\_\_\_ 千円

③ 経営上の課題はないか

(営農類型: \_\_\_\_\_ )

項目	状況	問題・課題点(その改善策)	※問題ありの場合に記載
技術レベル	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
単収	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
品質・単価	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
経営規模	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
コスト	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
販売方法	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
加工流通	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		
その他	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり		

(2) 経営の改善を図るための事業内容

① 経営改善を図るための方策(4の(1)の③の経営上の課題を踏まえ、その改善方策を具体的に記載)

※新作物・流通加工・新技術のチャレンジの場合は、その旨を具体的に記入してください


② 設備資金の使いみちと資金調達

実施年度	投資内容	規模・能力	数量	主食用米の生産に供する農地、施設、機械に該当する場合は○(※)	事業費 【単位:千円】	新設・更新	資金調達計画	
							(自己資金、補助金、借入金等)	(借入金の場合、償還期間)
1						新設・更新		年
2						新設・更新		年
3						新設・更新		年
4						新設・更新		年
5						新設・更新		年
合計								

※目標年度までのすべての設備投資をご記入ください。(自己資金のみによる設備投資を含めてご記入ください。)  
 投資内容の欄について、農地等を取得する場合は、田、畑などの用途と、自作地・小作地の別をご記入ください。  
 ※農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合は、記載すること。

③ 運転資金などの主な使いみちと資金調達(研修、調査、研究開発費として必要な資金も本欄にご記入ください。)

長期運転資金の使いみちと算出基礎	必要時期	必要額	償還期間	備考
	月 日	千円	年	
	月 日	千円	年	
	月 日	千円	年	

④ (スーパーL資金について)経営安定のための資金の使いみちと資金調達

資金の使いみちと必要額の算出根拠	必要時期	必要額	償還期間	備考
○負債の整理(※1)	年 月	千円	年	
○資本構成の是正(※2)	年 月	千円	年	
○その他	年 月	千円	年	

※1金利が高いとか、償還期間が短いといった理由により、現に経営の安定に支障をきたしている既往負債がある場合に、その負債を整理の対象にするものです。

2 本来は長期資金で対応すべきものを短期資金で対応したために悪化した流動比率を、長期資金への借換えによって是正するものです。

(参考)既往借入金の状況(農業経営以外の借入金も記載してください。)

( 年 月 日現在)

借入先または資金名	主な資金の使いみち	借入年月	現在残高 【単位:千円】	利率	償還期限	据置期限	償還方法 (いずれかを○で囲んでください)
1		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
2		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
3		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
合計							

⑤ 経営改善のための計画の算出基礎(該当する営農類型について記入してください。)

(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

## (酪農)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
経産牛1頭あたり乳量	kg / 頭			濃厚飼料総給与量	t / 年		
乳価	円 / kg			濃厚飼料平均価格	円 / kg		
乳飼費	%			粗飼料総給与量	t / 年		

## (肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1	
区分	単位	実績	目標	実績	目標
素牛	導入頭数	頭 / 年			
	導入月齢	か月			
	導入価格	千円 / 頭			
販売牛	販売月齢	か月			
	販売体重	kg / 頭			
	販売価格	千円 / 頭			
枝肉ランク	%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上
濃厚飼料総給与量	t / 年				
濃厚飼料平均価格	円 / kg				
粗飼料総給与量	t / 年				

## (養豚)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
種豚の品種	♂			肥育豚	出荷日令	日	
	♀				出荷体重	kg	
母豚1頭当り年間産子数	頭 / 年			上物率	%		
母豚平均分娩回数	回 / 年			肥育豚販売手数料	円 / 頭		
販売子豚	出荷日令	日		飼料総給与量	t		
	出荷体重	kg		飼料要求率			

## (採卵鶏)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種	♂			淘汰方法			
	♀			産卵期間	か月		
導入ヒナ	日令	日		飼料総給与量	t		
	価格	円 / 羽		飼料要求率			
年間導入羽数	千羽			G. P. 経費	円 / kg		
育成率	%						

## (ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種				育成率	%		
ヒナ購入価格	円 / 羽			出荷日令	日		
鶏舎延坪数	坪			出荷体重	kg / 羽		
坪当たり常時飼養羽数	羽 / 坪			飼料総給与量	t		
餌付回数	回 / 年			飼料要求率			
餌付羽数	千羽 / 年						

## (3) 計画が実行された場合に収益はどうか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	目標(5年目)
売上						
記入例 水 稲	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
	経営規模					
	生産量					
	売上高					
その他( )						
売上原価						
期首商製品棚卸高						
当期商品仕入高						
当期製品製造原価						
	材料費					
	労務費					
	賃借料					
	その他経費					
	(減価償却)					
期末商製品棚卸高						
売上総利益						
販売費・一般管理費						
	役員報酬					
	その他人件費					
	出荷販売経費					
	減価償却費					
営業利益						
営業外利益						
営業外費用						
	支払利息					
経常利益						
税引前当期利益						
法人税等充当額						
税引後当期利益						
償還財源						
償還金(元本)						
差引余剰						
施設・機械等の設備投資						
農業負債(短期)						
農業負債(長期)						
農外負債						
計						

## 経営改善資金計画書(個人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	}	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会		
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店		
<input type="checkbox"/>	銀行 店		
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店		
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店		
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店		

提出先の窓口機関にチェックを入れて下さい。

年 月 日

住所  
氏名 印

(注) 金額は千円単位で記入して下さい。

家族構成等			直近年の収支状況 (特別の事情があるときは、直近年の前年を記入しても差し支えない。)			備考		
家族従事者 (農業後継者は、備考欄にその旨を記入)			区分	農業	農外	(注2)		
年齢	農業従事日数	備考	収入A	千円	(注1) 千円			
歳	日			支出B	千円		千円	
歳	日		(A-B)		千円		千円	
歳	日			合計	千円		千円	
歳	日		所得		② 千円			
その他の家族(性別、年齢のみ) 男女( 歳)、男女( 歳)、男女( 歳)、男女( 歳)				① 千円				
雇用労働	常雇	人/年	農業所得割合 ①/②		%			
経営の概要(固定資産税台帳の写し等内容のわかるものを添付した場合は記入不要)								
経営規模	田	a	倉庫	m <sup>2</sup>	乳牛(成牛)	頭	耕耘機	台
	畑	a	畜舎	m <sup>2</sup>	肉用牛	頭	脱穀機	台
	樹園地	a	堆肥舎	m <sup>2</sup>	豚	頭	田植機	台
	採草放牧地	a	サイロ	m <sup>2</sup>	採卵鶏	羽		
	[ a ]		[ m <sup>2</sup> ]	ハウス	m <sup>2</sup>	[ 頭羽 ] ブロイラー	羽	[ 台 ]

(注1)年金、祝金等は農外収入に含めること。  
(注2)おおむね5年後の農業所得、労働時間及び農家総所得の目標を記入。

事業・資金・償還計画等					
事業内容	事業目的(注1)	種類	数量・規模・能力	事業費	
	(記載例) 現在、甘長とうがらし等を栽培している専業農家ですが、冬場の甘長とうがらしの生産安定、品質の向上を図るため、暖房設備を設置するとともに、トラクターを更新する。	暖房設備 トラクター	一式、MO型(18C~用) 一台、○社、○型、46PS	〇〇〇円 〇〇〇円	
資金計画	所要資金  千円	資金調達			
		制度資金  千円	その他借入  千円	補助  千円	自己資金  千円
	(資金用途を記入)	(左に同じ)	(左に同じ)	(左に同じ)	
償還財源等	年間償還額 (注2:元本のみ)  [償還期間○年]	償還財源(注3)			
		農業所得  千円	参考(作目ごとの粗収入を記入)		
	米麦  千円		果樹 野菜  千円	畜産物  千円	
	備考	家計費( 千円)、租税公課( 千円)			
	元金の償還方法 ・時期(希望)	(記載例) 元金均等半年賦、毎年6月1日及び12月1日など			
	利息の支払方法 ・時期(希望)	(記載例) 年○回、6月、12月			
	最終償還期限	平成 年 月 日			
資産の状況(注4)		既往借入金残高(注5)			
土地	宅地	m <sup>2</sup>	農業近代化資金	千円	
	田	a	日本政策金融公庫資金 (農業改良資金を除く。)	千円	
	畑	a			
	樹園地	a	農業改良資金	千円	
	採草牧草地	a			
	山林その他	m <sup>2</sup>			
建物	居室	m <sup>2</sup>			
			合計	千円	
預貯金	千円		年間償還金額	千円	

(注1) 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合であって、融資対象が主食用米の生産に供する農地・施設機械の場合は、(主食用米の生産に供する農地・施設・機械)と記入する。

(注2) 今回の借入額を償還期間(据置期間を除く)で除した金額を記入する。

(注3) 償還財源欄は、原則として、おおむね5年目(経営改善の目標年目)時点のものを記入する。  
ただし、この間において、償還財源が最大なときがある場合はその年目のものについて記入する。

(注4) 固定資産税台帳等で把握可能であり、添付された場合は記入不要。

(注5) 資金の種類を問わず(当然、営農口座等による借入金を含む。)、資金の種類ごとに借入金をすべて(営農負債以外のものを含む。)記入する。

<p>新作物・流通加工・新技術のチャレンジ内容</p>	<p>(注) 農業改良資金の借入を希望する場合のみ記載し、資金による取組の内容(新作物、流通加工分野、新技術に係る内容)、目標について具体的に記入してください。</p> <div data-bbox="395 338 1428 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(記載例) 野菜の露地栽培(〇〇アール)に加えて、(新たに〇〇の)施設栽培(〇〇アール)を導入し、労力の分散による作業の効率化と省力化を図り、さらに品質の向上等による収益性の向上を図る。(新しい生産方式又は新規作物の導入例)</p> </div> <div data-bbox="395 589 1428 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(記載例) 農産物の高付加価値化を図るため、まず遠赤外線乾燥技術を導入するとともに餅加工機械等を導入し、〇〇や〇〇などの生産・加工部門を新たに開始する。当面は庭先による対面販売を行うが将来的(〇年後を目途)にはインターネットを活用した販売に取り組む。(新しい生産・加工・販売方式の導入例)</p> </div>
<p>特記事項</p>	<p>(注) 第三者のために保証人になっている場合は、その額及びその明細を必ず記入すること。</p>

(注) 極力具体的に記入するものとし、特に次の点に注意すること。

- (1) 「元金の償還方法・時期」欄及び「利息の支払い方法・時期」欄については毎年の償還期日、分割償還額及び利息支払日を記入する。
- (2) 「資金計画」欄中「その他借入」については借入先、借入時期、「補助金」については交付機関名とその金額、「自己資金」については現金、自家労賃、手持資材別にその金額を記入すること。

# 経営改善資金計画書(法人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

年 月 日

提出先の窓口機関にチェックを入れて下さい。

住 所

法人名

代表者

印

(注) 金額は千円単位で記入して下さい。

法人の概要						農業所得割合			
設立年月	年	月	資本金			千円			
構成員氏名 <small>※連帯債務者は、氏名に○印を記入</small>	年齢	役職担当	法人従事 日数	出資口数	その他・備考	農業に係る 直近年の売上高①	千円		
					○構成戸数 ( ) 戸				
					○常時雇用 ( ) 人				
					○臨時雇用 ( ) 人	法人の直近年の 総売上高②	千円		
直近の損益状況(特別の事情があるときは直近年の前年を記入しても差し支えない。)(注1)									
区 分		営 業		営 業 外					
利益・収益		A 千円		B 千円					
費 用		C 千円		千円					
経常利益A+(B-C)		千円		千円		①/②	%		
税引後当期利益		千円		千円					
備考	(注2)								
経営の概要(固定資産税台帳の写し等内容のわかるものを添付した場合は記入不要)									
経営規模	田	a	倉庫	m <sup>2</sup>	家畜 (頭羽)	乳牛(成牛)	頭	耕耘機	台
	畑	a	畜舎	m <sup>2</sup>		肉用牛	頭	脱穀機	台
	樹園地	a	堆肥舎	m <sup>2</sup>		豚	頭	田植機	台
	採草放牧地	a	サイロ	m <sup>2</sup>		採卵鶏	羽		
	a		m <sup>2</sup>	ハウス		m <sup>2</sup>	ブロイラー	羽	台
参考事項									

(注1) 業務報告書等で把握可能であり、添付した場合は記入不要。

(注2) おおむね5年後の売上高、労働時間及び総売上高の目標を記入。

事業・資金・償還計画等							
事業内容	事業目的(注1)	種類	数量・規模・能力		事業費		
	(記載例) 現在の栽培方法では、連作による土壌の障害が発生する為、収益率が下がるので、今回、新技術を導入し、収益の向上及び人手の省力化を図りたい。	ロックウールばら培養装置	一式、〇社、〇型			〇〇〇円	
資金計画	所要資金	資金調達				自己資金	
		制度資金	その他借入	補助	自己資金		
	千円	〔 資金用途を記入 〕 千円	〔 左に同じ 〕 千円	〔 左に同じ 〕 千円	〔 左に同じ 〕 千円	千円	
償還財源等	年間償還額 (注2:元本のみ)	償還財源(注3)					
		営業利益	参考(売上で記入)			税引き 前当期 利益	
	米麦		果樹 野菜	畜産物			
	[償還期間〇年]	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	元金の償還方法 ・時期(希望)	(記載例) 元金均等半年賦、毎年6月1日及び12月1日など					
利息の支払方法 ・時期(希望)	(記載例) 年〇回、6月、12月						
最終償還期限	平成 年 月 日						
資産の概要(業務報告書等で把握可能であり、添付した場合記載不要)							
項目	金額	主な勘定内訳					
流動資産	千円	預貯金( 千円)、売掛金( 千円)、受取手形( 千円)、棚卸( 千円)					
固定資産	千円	土地( 千円)、建物( 千円)					
繰延資産	千円						
資産合計	千円						
流動負債	千円	短期借入金( 千円)、買掛金( 千円)、支払手形( 千円)					
固定負債	千円	長期借入金( 千円)					
資本	千円	資本金( 千円)、法定準備金( 千円)、余剰金( 千円)					
保証債務	千円						

(注1) 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合であって、融資対象が主食用米の生産に供する農地・施設機械の場合は、(主食用米の生産に供する農地・施設・機械)と記入する。

(注2) 今回の借入額を償還期間(据置期間を除く)で除した金額を記入する。

(注3) 償還財源欄は、原則として、おおむね5年目(経営改善の目標年目)時点のものを記入する。  
ただし、この間において、償還財源が最大なときがある場合は、その年目のものについて記入する。

<p>新作物・流通加工・新技術のチャレンジ内容</p>	<p>(注) 農業改良資金の借入を希望する場合のみ記載し、資金による取組の内容(新作物、流通加工分野、新技術に係る内容)、目標について具体的に記入してください。</p> <div data-bbox="389 365 1425 584" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(記載例)          水稻経営の規模拡大(刈取面積〇〇ha→〇〇ha)により更に一台のコンバインを導入し適期刈取を進めるとともに、環境にやさしい農業の推進のため高精度水田除草機を導入し農薬(除草剤)の散布量を減じる。(新しい生産方式の導入例)</p> </div> <div data-bbox="389 647 1425 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(記載例)          飼料給与体系をミキサーフィダーの導入によりTMR方式に改良し、給与技術を改善する。また、繋ぎ飼い方式をフリーストールミルクングパーラー方式に改造し、飼養規模の拡大(成牛〇〇頭→〇〇頭)による低コスト化により収益性の改善を図る。更に〇年目を目途に、自家産牛乳を活用したアイスクリームの製造直売施設を設置し、高付加価値販売に取り組む。(新しい生産・加工・販売方式の導入例)</p> </div>
<p>特記事項</p>	<p>(注) 第三者のために保証人になっている場合は、その額及びその明細を必ず記入すること。</p>

(添付書類例)

- (1) 定款、規約又はこれに準ずるもの。
  - (2) 最近年度の業務報告書又はこれに準ずるもの。
  - (3) 最近時の試算表又はこれに準ずるもの。
  - (4) その他の事業ごとに必要とする書面(例えば農業倉庫においては、販売事業及び倉庫事業の年間収支の実績及び収支予想、設計書、建築許可書など)
- ※法人格を有しない団体も本計画書に準ずる。

経営改善資金計画書の審査の考え方

融資審査の視点	具体的な着眼点・判断基準	備考
<p>1 これまでの経営状況はどうなっているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営者の能力（技術レベル、経営マインド、生産物の単収・品質、生産コスト、資産等）はどの程度か</li> <li>○ 経営力を背景とした収支実績、財務内容、資金繰りはどうか（家族経営の場合、家計も含めて分析）</li> <li>○ 既貸付金の償還は確実に行われているか</li> <li>○ 経営上の問題点は何か</li> </ul>	<p>必要に応じ普及指導センター・市町村等に照会</p>
<p>2 経営改善のための計画は適切であり、実行可能か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経営者の能力（現在の技術レベル、経営マインド等）からみて達成できるか ※</li> <li>○ 計画の内容が過大投資になっていないか</li> </ul>	<p>同上</p>
<p>3 収益はどうなるか。融資返済は可能か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収益見通しの算出基礎となっている単収単価等は無理のないものか</li> <li>○ 償還見通しはあるか（既貸付金がある場合には、それを含めて償還可能性を判断）</li> <li>○ 当該作目の需給・価格動向がある程度変動しても償還可能となるよう余裕をもったものとなっているか</li> </ul>	<p>同上</p>

※ 農業者の経営能力等からみて、経営改善資金計画の実行可能性に疑問がある場合には、1年間、普及指導センター等の指導を受けて、1年後に再度判断するものとする。

この部分は必要

平成〇年の経営状況報告書(△年目)(個人)

(注)この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のとおりと記載して、別途書類を添付する等の方法を探っても差し支えない。

年 月 日

融資機関あて

本人氏名

印

(指導担当者氏名

印)

この欄のみ記入(他の欄は融資機関が予め記入)

(金額単位:千円)

		前々年実績	前年計画 a	前年実績 b	実績/計画 b/a%	次年度計画	5年目計画	
農業粗収入								
記入例 水 稲	経営規模				この欄は自動計算			
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	作業受託収入							
	その他( )							
	農業経営費							
原材料費								
施設・機械費								
うち減価償却費								
出荷販売経費								
雇用労賃								
支払利息								
支払地代								
その他								
農業所得								
農外所得								
年金被贈等								
農家総所得								
家計費								
租税公課								
償還財源								
償還金(元本)								
差引余剰								
施設・機械等の設備投資								
農業負債(短期)								
農業負債(長期)								
農外負債								
計								

経営改善資金計画と相違がない場合はその旨を記載すれば足りる。

この部分は必要

平成〇年の経営状況報告書(△年目)(法人)

融資機関あて

(注)この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のとおりと記載して、別途書類を添付する等の方法を探っても差し支えない。

年 月 日

本人氏名

印

(指導担当者氏名

印)

(金額単位:千円)

		前々年実績	前年計画 a	前年実績 b	実績/計画 b/a%	次年度計画	5年目計画	
<b>売上</b>								
記入例 水 稲           その他( )	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	経営規模							
	生産量							
	売上高							
	<b>売上原価</b>							
	期首商製品棚卸高							
	当期商品仕入高							
当期製品製造原価								
	材料費							
	労務費							
	賃借料							
	その他経費							
	(減価償却)							
期末商製品棚卸高								
<b>売上総利益</b>								
<b>販売費・一般管理費</b>								
	役員報酬							
	その他人件費							
	出荷販売経費							
	減価償却費							
<b>営業利益</b>								
<b>営業外利益</b>								
<b>営業外費用</b>								
	支払利息							
<b>経常利益</b>								
税引前当期利益								
法人税等充当額								
税引後当期利益								
<b>償還財源</b>								
償還金(元本)								
差引余剰								
施設・機械等の設備投資								
農業負債(短期)								
農業負債(長期)								
農外負債								
<b>計</b>								

この欄のみ記入(他の欄は融資機関が予め記入)

この欄は自動計算

経営改善資金計画と相違がない場合はその旨を記載すれば足りる。

※法人格を有しない団体も本報告書に準ずる。

(注)一つの融資機関単独で融資審査した場合は別途任意様式を使用しても差し支えない。

別紙5(第5の6関係)

融資審査等総括表

特定地域であるか否かのチェック欄 特定地域であれば市町村名を○で囲む等		市町村	
		普及指導センター／農協	
資金借入申込者氏名		営農類型／規模	
	融資機関記載欄1	融資機関記載欄2	融資機関記載欄3
1 これまでの経営状況はどうなっているのか (経営者の能力)	融資機関名: 資金名		
経営マインド 技術レベル 単収 品質・単価 規模 コスト 家計費 etc	地域の平均と比べて、「平均並み」、「優れている」、「劣っている」で記入	様式別紙2の(3)又は(4)を使用した場合は記入不要。	
2 経営改善のための計画は適切であり、実行可能なものか	・現状から見て実現可能か ・過大な投資となっていないか		
3 計画が実行された場合に収益はどうか、借入金の返済は可能か	・計画の算出基礎となっている単収・単価は無理がないか ・償還は可能か ・単収・価格がある程度変動しても償還可能となるよう余裕	様式別紙2の(3)又は(4)を使用した場合は記入できる範囲で記入。	
債権保全措置 担保提供 農業信用基金協会保証	千円		
融資額	千円	千円	千円
農業改良資金を活用することについての都道府県の判断	認定の適否: 適・否		
融資可否の判断			

借入申込書

平成 年 月 日

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	} 御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

提出先の融資機関にチェックを入れてください。

郵便番号 □□□-□□□□

住所

電話番号 ( )

フリガナ

氏名 印

生年月日 [ 年 月 日生( 歳)]

[法人等の場合は、名称及び代表者名]

農業経営改善関係資金借入申込額等							
資金名	今回借入 申込金額 (千円)	資金使途	資金必要 年 月	償還期間		払込期日 年 回払い 月 日	償還方法 1. 元金均等 2. 元利均等
				年 月まで	うち据置期間 年 月まで		
農業近代化資金							
農業改良資金							
農業経営基盤強化資金							
経営体育成強化資金							
担保(有・無)	所在地	地目・種類	筆数・登記面積 規模(実面積)m <sup>2</sup>	担保種類・ 順位	所有者名		
	(注) 前向き制度資金借入申込希望書に記入した事項と変更がない場合は、省略して差し支えない						
農業信用基金協会の保証の有		有 ・ 無					
連帯保証人	住所	氏名又は法人名		申込者 との関係	職業又は営業内容 (年収又は年商)		
	〒 TEL	年 月 日( 歳)			( 百万円)		
	〒 TEL	年 月 日( 歳)			( 百万円)		

(記入上の注意) 国民の祝休日と1月2日、1月3日、12月31日は払込期日としないでください。

債務保証委託申込書

( 農業近代化資金 ・ 農業改良資金 ・ 農業経営基盤強化資金 ・ 経営体育成強化資金 )

借入れをする資金名を

平成 年 月 日

農業信用基金協会会長 殿

郵便番号 □□□-□□□□

住 所

電話番号 ( )

フリガナ

氏 名

印

生年月日 [ 年 月 日生( 歳) ]  
[ 法人等の場合は、名称及び代表者名 ]

下記の借入金について、貴会の保証を受けたいので申し込みます。

記

融 資 機 関		借入予定日	平成	年	月	日
借入金額		借入期間		年	ヵ月間	
借入金用途		うち据置期間		年	ヵ月間	
利 率	年 %	第1回償還日	平成	年	月	日
元金の支払い 方 法	割賦 毎年 月 日	最終償還日	平成	年	月	日
	第1回～第回 ¥ 円	利 息 の 支 払 い 方 法	毎 年	月	日	
	第回～第回 ¥ 円					
第回～第回 ¥ 円						
申込者が既に 債務保証を受 けているもの の 内 容	年度	保証番号	現在残高	資 金 名 ( 用 途 )		
			千円			
			千円			
			千円			